

啄木のふるさと『もりおかの短歌』

第2回 春の部 優秀賞発表

春の部優秀賞十首

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』は、啄木が生れ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に実施している事業です。

年間を4つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。第2回目となった春の部は、今年

3月から5月までの3カ月間募集し、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。

投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は第3回夏の部を募集しておりますので、啄木になつた気分で行書きの短歌に一度挑戦してみたいかがですか。

啄木の人柄に触るる
心地して姫神の郷の
足湯に憩ふ

岩手県八幡平市 及川 稜

洪民のその名に心はやるなり
今駅に立ち
彼の苦思う

大阪府大阪市 筒井 由美

石を割る
見事な桜に励まされ
宇宙へのゆめきつとはたさん

大阪府豊中市 上原 満

新緑の御所湖畔に
頬白の「一筆啓上」
さえずりを聞く

岩手県盛岡市 鈴木 充

吾もまた
十五の心になりたくて
不来方城址に寝ころんでみる

神奈川県横浜市 牛島 芳一

小岩井の一本桜咲きにけり
なぜか孤高の
啄木に似る

神奈川県横浜市 牛島 芳一

盛岡に住みたる孫は
啄木を二十首そらんじ
二年生になる

宮城県富谷町 根本 由紀子

チヤグチヤグと鈴の音かおるみちのく路
馬上の少女に
投げキッスする

青森県八戸市 田村 三之助

言の葉のやさしきひびき
停車場の啄木思う
盛岡の旅

東京都新宿区 松下 洋子

時間なく
あせる気持ちをやじやめんの
辛さがピシッとひきしめるなり

北海道留萌市 高田 僚哉

平成二十二年六月選 春の部
投稿数 二百八十首

選者 松田 久恵氏